

■事故の概況

人と車参照



事故類型：単独事故

発生日時：雨天 夜

当事者A：軽貨物車 30歳代 男性

■ 事故の概要

Aは制限速度50kmの緩やかな左カーブを時速約80kmで走行していたところ、下り勾配から緩やかな登りに差しかかる直前で、ハンドル操作が不能になりました。そのため対向車線にはみ出し、さらにスピンしながら対向車線側の縁石に乗り上げた後、立木に左側面から衝突しました。

シートベルト非着用だったAは、衝撃により後部ドアの窓から車外に放り出され、道路脇の植え込みに転落しました。

■ 事故から学ぶ

強い雨で水たまりなどもあり、滑りやすい状況にありながら、急いでいたため制限速度を約30kmも超えた速度で走行していました。また、この車両のタイヤは残溝が少なくなっていた為、ハイドロプレーニング減少を起こしたものと推測されます。

Aはタイヤの溝が少なくなっていることも、制限速度をオーバーしていることも知っていましたが、急いでいるという理由で危険運転をしています。

さらにシートベルト非着用だったため、衝突の衝撃により車室内の方々に衝突しながら車外に放り出されてしまいました。シートベルトをしっかりと着用していれば車外放出されることはなかったでしょう。